



国立研究開発法人

国立精神・神経医療研究センター病院家族会 むさしの会

## 7月の例会・学習会のご案内

鬱陶しい梅雨も明け、深緑が美しい7月です。

皆様お元気でしょうか。今月は、DVDによる学習会を計画しました。テーマは久々に「薬」です。人それぞれにちょうど良い薬の量があり、薬の量が変わると、生活の質が変わると言います。

今回は、「ちょうど良い薬の量のはなし」というDVD（127分）の中で、精神科医の渡邊博幸先生、薬剤師の築地茉莉子さん、当事者の市川左千子さんのお三方からそれぞれ、薬の量と生活のしやすさ、医師と患者の橋渡し役としての薬剤師の視点、納得のいく医師と出会うまでの当事者の苦労話等が話されます。この機会に薬のことをしっかり学んで生活の質をさらに高めて行きましょう。

多くの方のご参加をお待ちしております。～初めての方もどうぞ～

### 記

日時 平成30年（2018）7月28日（土） 13:00～16:30

場所 国立精神・神経医療研究センター 中央館3階コスモホール  
（西武線荻山駅下車、南へ徒歩5～7分 エレベータ、駐車場あり）

学習会 ◎映像学習会 13:00～14:30

#### 演題第一部 ちょうど良い薬の量のはなし

薬の量が多すぎないか調べる計算方法（CP）換算法を勉強します。各自処方箋をお持ちになる事をお勧めします。当日「薬の等価換算表」をお配りします。

休憩 のびのび体操 20分

#### 演題第二部 トークセッション 14:50～15:30

渡邊博幸氏×築地茉莉子氏×市川左千子氏×伊藤順一郎氏  
各氏がDVDの中で、いろんな疑問に応える形でお話いただいております。

懇談会 各自「薬の等価換算表」で復習してみましよう。

参加費 200円 （当事者の方は無料です）

問合せ先 「むさしの会」会長住本知子 Tel&Fax042-572-6028